

## 岡崎市立生平小学校 部活動に係る活動方針

### 1 本校の現状

- ・実施期間は4月から10月中旬、2月中旬から3月である。
- ・水泳・陸上の大会参加を中心とし、保護者の理解を得ながら実態にあった内容で行なっている。
- ・運動部は水泳や陸上を中心とし、文化部は園芸活動や音楽活動に取り組んでいる。
- ・児童は自由参加制とし、教職員は運動部と文化部で半々に分かれて指導している。

### 2 本校における課題

- ・運動部と文化部の2つの人数に大きな偏りが見られることで、活動内容が制限されることがある。

### 3 具体的な活動方針

#### (1) 部活動運営について

- ・学校は、安全で適切な部活動運営を組織的に行うため、校長を中心とする責任ある指導、運営体制の下、学校全体で組織的に運営を行っていく。
- ・校長は、岡崎市部活動指針ガイドライン（岡崎市教育委員会作成）の趣旨を踏まえた生平小学校の運営方針を策定し、その方針を職員と共有して部活動運営にあたっていく。
- ・顧問は、部活動の目標が達成されるように、さらに児童の安全・安心が確保されるよう練習・指導計画を立てる。

#### (2) 活動量（休養日や活動時間等）について

##### ア. 平日

- ・活動日は、週3日以内とする。
- ・活動時間は、最長1時間、最短30分とする。

##### イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・休日は大会やコンクール等の特別な場合以外は、原則活動をしない。

##### ウ. 長期休業中

- ・活動時間は、2時間以内とし、長時間練習はしない。なお、気象状況や児童の健康状態を考慮した範囲内とする。
- ・土日については、原則活動をしない。

## 4 その他

### (1) 保護者及び地域との連携

- ・顧問は、日頃から保護者との信頼関係を築き、児童の活動が充実したものになるように心掛ける。

### (2) 安全の確保

- ・学校及び顧問は、活動場所の施設や設備、道具等について管理を適切に行うとともに、必要に応じて安全点検をして事故防止に努める。
- ・顧問は、天候・気温等と児童の健康状態・活動前の様子を確認し、活動中の児童の様子を把握するとともに、活動後は異常の有無を確認する。
- ・学校は、熱中症を予防するため、高温や多湿時にはWBGT値（熱中症指数）に留意し、十分に水分や塩分が補給できる休憩時間を確保する等、児童の健康管理に努める。また、体を冷やすために首に巻く市販の冷却タオル等を活用することを承諾し、家庭に呼びかける。
- ・熱中症の対応について顧問で共通理解を図り、応急手当の研修を実施したり、管理職への連絡方法を確認したりしておく。また、児童に熱中症についての知識・予防等について啓発しておく。
- ・炎天下における長時間の指導を避け、休憩や水分補給をしっかりとる。体育館での活動も、風通しをよくする等、環境に配慮する。
- ・顧問は、落雷等による事故を避けるため、急激な天候の変化に留意する。

### (3) 緊急時の対応

- ・緊急の事態に対処できるよう、顧問不在の中での活動は絶対に行わない。
- ・事故が発生した場合、速やかに管理職等に第一報を入れる。また、命にかかわる緊急時は、顧問から直接救急車を呼ぶ等の迅速な対応を図る。そして、医療機関への移送や保護者への連絡等の緊急時の救急体制を共通理解し、学校体制で連携していく。
- ・事故が発生した後は、速やかに管理職及び顧問によって事故原因を分析し、安全管理と指導の在り方について点検し、再発防止対策を早急に講ずる。